

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

運用報告書（全体版）（第11作成期）

第58期（2019年11月25日） 第61期（2020年2月25日）
第59期（2019年12月25日） 第62期（2020年3月25日）
第60期（2020年1月27日） 第63期（2020年4月27日）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年12月19日から2022年12月26日まで	
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネープールマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、2020年4月27日に第63期決算を行いましたので、第58期から第63期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(道格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第7作成期	34期(2017年11月27日)	2,996	110	△ 2.4	—	—	98.4	8,053
	35期(2017年12月25日)	2,892	110	0.2	—	—	98.1	9,366
	36期(2018年1月25日)	3,000	110	7.5	—	—	98.2	11,804
	37期(2018年2月26日)	2,874	110	△ 0.5	—	—	98.0	13,470
	38期(2018年3月26日)	2,623	110	△ 4.9	—	—	97.9	13,681
	39期(2018年4月25日)	2,538	110	1.0	—	—	97.9	15,120
第8作成期	40期(2018年5月25日)	2,206	85	△ 9.7	—	—	98.4	15,180
	41期(2018年6月25日)	1,851	85	△ 12.2	—	—	98.4	12,686
	42期(2018年7月25日)	1,932	85	9.0	—	—	98.1	13,883
	43期(2018年8月27日)	1,678	85	△ 8.7	—	—	98.4	13,243
	44期(2018年9月25日)	1,703	85	6.6	—	—	97.8	13,871
	45期(2018年10月25日)	1,749	85	7.7	—	—	98.1	15,285
第9作成期	46期(2018年11月26日)	1,756	85	5.3	—	—	98.0	16,957
	47期(2018年12月25日)	1,619	85	△ 3.0	—	—	98.3	17,345
	48期(2019年1月25日)	1,712	65	9.8	—	—	98.5	19,927
	49期(2019年2月25日)	1,692	65	2.6	—	—	98.5	21,495
	50期(2019年3月25日)	1,521	65	△ 6.3	—	—	98.3	20,758
	51期(2019年4月25日)	1,475	65	1.2	—	—	98.3	22,332
第10作成期	52期(2019年5月27日)	1,363	65	△ 3.2	—	—	98.4	21,546
	53期(2019年6月25日)	1,387	65	6.5	—	—	98.4	22,621
	54期(2019年7月25日)	1,374	65	3.7	—	—	98.4	23,966
	55期(2019年8月26日)	1,138	65	△ 12.4	—	—	98.3	22,124
	56期(2019年9月25日)	1,143	65	6.2	—	—	98.5	22,719
	57期(2019年10月25日)	1,167	45	6.0	—	—	98.5	24,320
第11作成期	58期(2019年11月25日)	1,122	45	0.0	—	—	98.3	24,328
	59期(2019年12月25日)	1,143	45	5.9	—	—	98.4	25,255
	60期(2020年1月27日)	1,103	45	0.4	—	—	98.2	25,795
	61期(2020年2月25日)	984	45	△ 6.7	—	—	98.2	23,663
	62期(2020年3月25日)	538	30	△ 42.3	—	—	98.6	11,621
	63期(2020年4月27日)	489	30	△ 3.5	—	—	98.1	11,304

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III- ブラジル株式アルファ・ ファンド (通称 機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラス)) 組 入 比 率
			円	%			
第58期	期 首 (前期末)	2019年10月25日	1,167	—	—	—	98.5
		10月末	1,190	2.0	—	—	98.9
	期 末	2019年11月25日	1,167	0.0	—	—	98.3
第59期	期 首 (前期末)	2019年11月25日	1,122	—	—	—	98.3
		11月末	1,108	△ 1.2	—	—	98.4
	期 末	2019年12月25日	1,188	5.9	—	—	98.4
第60期	期 首 (前期末)	2019年12月25日	1,143	—	—	—	98.4
		12月末	1,152	0.8	—	—	98.5
	期 末	2020年1月27日	1,148	0.4	—	—	98.2
第61期	期 首 (前期末)	2020年1月27日	1,103	—	—	—	98.2
		1月末	1,067	△ 3.3	—	—	98.5
	期 末	2020年2月25日	1,029	△ 6.7	—	—	98.2
第62期	期 首 (前期末)	2020年2月25日	984	—	—	—	98.2
		2月末	879	△10.7	—	—	98.3
	期 末	2020年3月25日	568	△42.3	—	—	98.6
第63期	期 首 (前期末)	2020年3月25日	538	—	—	—	98.6
		3月末	543	0.9	—	—	98.6
	期 末	2020年4月27日	519	△ 3.5	—	—	98.1

(注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

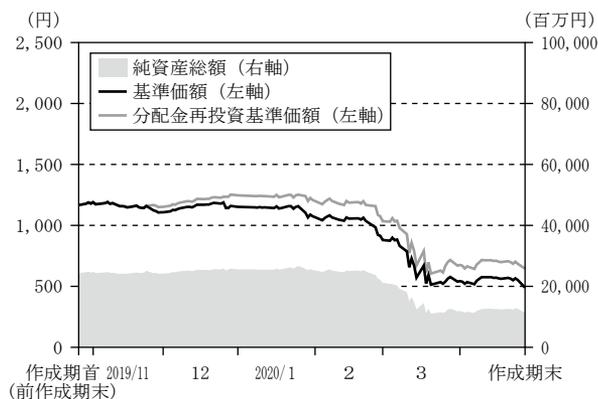
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第58期首：1,167円

第63期末：489円（既払分配金240円）

騰落率：△44.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、ブラジル株式（米ドル建てETF）などがマイナス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	△46.5%
マネープールマザーファンド	△ 0.0

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

ブラジル株式市場は下落しました。2019年11月、汚職で有罪判決を受けたルラ元大統領が釈放され、政局が混乱すると懸念が台頭したことなどから株価は下落しました。12月には、ブラジルの7-9月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回る伸びを示したことや、ブラジル中央銀行による利下げの決定、米中貿易協議が第一段階での合意に達したことなどが好感され株価は上昇しました。また、パウロ財務相が国営企業の民営化や税制改革の実施を発表したことなども好材料となって、ブラジルの主要株価指数であるボベスパ指数が史上最高値を更新する展開となりました。しかし2020年1月には、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家がリスク回避姿勢を強めたことで株価は下落しました。その後も、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、事態の深刻化や長期化が意識されるなか世界経済に及ぼす悪影響への警戒感が強まり、株価は大幅下落する展開となりました。

【為替市況】

円・米ドル相場は円高米ドル安となりました。作成期初から2020年1月中旬にかけては、米国の経済指標の悪化や中東情勢の不透明感などが米ドルの売り材料となった一方、米中貿易協議の進展や米国株式市場の堅調さなどが買い材料となって、米ドルは円に対し一進一退する展開となりました。1月下旬には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどから米ドルは円に対し下落しました。その後は、中国による景気刺激策の実施見通しを背景に過度なリスク回避の動きが後退したことや、米国の経済指標が市場予想を上回ったこと、米国の景気刺激策への期待感などから米ドルは円に対し上昇する局面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に及ぼす悪影響が警戒されるなか、米ドルは円に対し上値の重い展開となりました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.22\%$ から作成期末は $\Delta 0.15\%$ となりました。作成期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第58期から第61期まで各45円、第62期から第63期は各30円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2019年10月26日から2020年4月27日まで)

費用の明細

項目	第58期～第63期		項目の概要
	2019/10/26～2020/4/27		
	金額	比率	
平均基準価額	989円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	7円 (3) (4) (0)	0.739% (0.278) (0.445) (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.046 (0.046)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	7	0.792	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

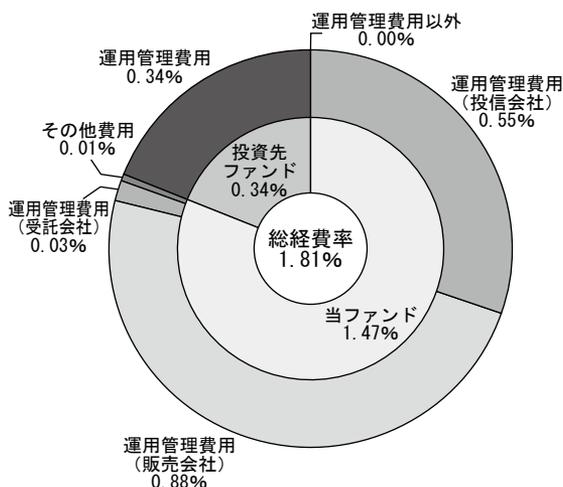
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、1.81%です。



総経費率 (①+②+③)	1.81%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況 (2019年10月26日から2020年4月27日まで)

(1) 投資信託証券

		第 58 期 ~ 第 63 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	口 7,927,725	千円 5,398,000	口 4,126,431	千円 2,555,890

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第 58 期 ~ 第 63 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネープールマザーファンド	千口 77,302	千円 78,470	千口 144,946	千円 147,110	

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2019年10月26日から2020年4月27日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年4月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第57期末)	当 作 成 期 末 (第 63 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	25,222,904	29,024,199	11,087,244	98.1

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 57 期 末)	当 作 成 期 末 (第 63 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	額
マネープールマザーファンド	175,075	107,430	109,031	

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は133,072口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2020年4月27日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 63 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	11,087,244	91.5
マネープールマザーファンド	109,031	0.9
コール・ローン等、その他	927,313	7.6
投資信託財産総額	12,123,588	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月25日現在 2019年12月25日現在 2020年1月27日現在 2020年2月25日現在 2020年3月25日現在 2020年4月27日現在

項 目	第 58 期 末	第 59 期 末	第 60 期 末	第 61 期 末	第 62 期 末	第 63 期 末
(A) 資 産	25,442,414,230円	27,176,220,571円	27,515,955,118円	24,960,654,852円	12,753,357,604円	12,123,588,700円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,361,230,550	2,149,120,742	1,916,414,905	1,477,379,206	1,185,767,563	927,312,932
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド (道格機関投資家限定 (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	23,903,447,488	24,849,381,144	25,343,376,766	23,227,112,199	11,458,558,389	11,087,244,116
マネー・プールマザー・ファンド (評価額)	177,736,192	177,718,685	256,163,447	256,163,447	109,031,652	109,031,652
(B) 負 債	1,114,161,032	1,920,612,366	1,720,745,578	1,297,465,866	1,131,630,181	819,164,151
未 払 金	—	471,000,000	360,000,000	—	331,000,000	92,000,000
未 払 収 益 分 配 金	975,625,781	994,708,028	1,052,102,618	1,082,341,683	648,097,550	692,973,446
未 払 解 約 金	107,887,369	424,634,540	274,322,678	185,690,878	133,188,213	17,752,247
未 払 信 託 報 酬	30,325,854	29,949,834	33,959,303	29,123,804	19,140,671	16,265,471
未 払 利 息	2,820	4,714	3,522	2,947	2,276	1,782
そ の 他 未 払 費 用	319,208	315,250	357,457	306,554	201,471	171,205
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	24,328,253,198	25,255,608,205	25,795,209,540	23,663,188,986	11,621,727,423	11,304,424,549
元 本	216,805,729,164	221,046,228,525	233,800,581,975	240,520,374,175	216,032,516,838	230,991,148,938
次 期 繰 越 損 益 金	△192,477,475,966	△195,790,620,320	△208,005,372,435	△216,857,185,189	△204,410,789,415	△219,686,724,389
(D) 受 益 権 総 口 数	216,805,729,164口	221,046,228,525口	233,800,581,975口	240,520,374,175口	216,032,516,838口	230,991,148,938口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,122円	1,143円	1,103円	984円	538円	489円

(注) 当ファンドの第58期首元本額は208,373,147,025円、第58～63期中追加設定元本額は124,292,242,232円、第58～63期中一部解約元本額は101,674,240,319円です。

(注) 元本の欠損

第63期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は219,686,724,389円です。

(注) 第63期末の1口当たり純資産額は0.0489円です。

損益の状況

自2019年10月26日 自2019年11月26日 自2019年12月26日 自2020年1月28日 自2020年2月26日 自2020年3月26日
至2019年11月25日 至2019年12月25日 至2020年1月27日 至2020年2月25日 至2020年3月25日 至2020年4月27日

項 目	第 58 期	第 59 期	第 60 期	第 61 期	第 62 期	第 63 期
(A) 配 当 等 収 益	944,896,581円	938,461,879円	976,368,347円	1,044,574,975円	930,829,561円	658,673,634円
受 取 配 当 金	944,938,096	938,507,614	976,416,421	1,044,611,453	930,868,971	658,700,375
受 取 利 息	115	—	—	—	—	—
支 払 利 息	△ 41,630	△ 45,735	△ 48,074	△ 36,478	△ 39,410	△ 26,741
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 908,176,549	△ 463,189,284	△ 820,501,401	△ 2,746,491,679	△ 9,460,559,670	△ 1,113,564,765
売 買 益	10,314,211	475,770,107	16,963,013	55,830,946	1,018,583,086	666,279
売 買 損	△ 918,490,760	△ 12,580,823	△ 837,464,414	△ 2,802,322,625	△ 10,479,142,756	△ 1,114,231,044
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,645,494	△ 30,266,887	△ 34,316,760	△ 29,430,358	△ 19,342,142	△ 16,439,408
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	6,074,538	1,371,384,276	121,550,186	△ 1,731,347,062	△ 8,549,072,251	△ 471,330,539
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 9,801,471,995	△ 9,948,008,871	△ 9,044,530,876	△ 9,443,633,309	△ 10,091,135,545	△ 18,433,499,642
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△181,706,452,728	△186,219,287,697	△198,030,289,127	△204,599,863,135	△185,122,484,069	△200,088,920,762
(配 当 等 相 当 額)	(21,555,237,768)	(21,970,503,836)	(23,223,361,799)	(23,806,334,328)	(21,359,211,943)	(22,907,028,976)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△203,261,690,496)	(△208,189,791,533)	(△221,253,650,926)	(△228,406,197,463)	(△206,481,696,012)	(△222,995,949,738)
(G) 合 計 (D + E + F)	△191,501,850,185	△194,795,912,292	△206,953,269,817	△215,774,843,506	△203,762,691,865	△218,993,750,943
(H) 収 益 分 配 金	△ 975,625,781	△ 994,708,028	△ 1,052,102,618	△ 1,082,341,683	△ 648,097,550	△ 692,973,446
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△192,477,475,966	△195,790,620,320	△208,005,372,435	△216,857,185,189	△204,410,789,415	△219,686,724,389
追 加 信 託 差 損 益 金	△181,767,827,422	△186,295,797,527	△198,140,340,158	△204,667,060,201	△185,122,484,069	△200,088,920,762
(配 当 等 相 当 額)	(21,493,863,074)	(21,893,994,006)	(23,113,310,768)	(23,739,137,262)	(21,359,211,943)	(22,907,028,976)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△203,261,690,496)	(△208,189,791,533)	(△221,253,650,926)	(△228,406,197,463)	(△206,481,696,012)	(△222,995,949,738)
分 配 準 備 積 立 金	—	—	—	—	263,389,869	202,209,846
繰 越 損 益 金	△ 10,709,648,544	△ 9,494,822,793	△ 9,865,032,277	△ 12,190,124,988	△ 19,551,695,215	△ 19,800,013,473

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第58期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（914,251,087円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（21,555,237,768円）より、分配対象収益は22,469,488,855円（1万口当たり1,036円）であり、うち975,625,781円（1万口当たり45円）を分配金額としております。

【第59期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（918,198,198円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（21,970,503,836円）より、分配対象収益は22,888,702,034円（1万口当たり1,035円）であり、うち994,708,028円（1万口当たり45円）を分配金額としております。

【第60期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（942,051,587円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（23,223,361,799円）より、分配対象収益は24,165,413,386円（1万口当たり1,033円）であり、うち1,052,102,618円（1万口当たり45円）を分配金額としております。

【第61期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,015,144,617円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（23,806,334,328円）より、分配対象収益は24,821,478,945円（1万口当たり1,031円）であり、うち1,082,341,683円（1万口当たり45円）を分配金額としております。

【第62期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（911,487,419円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（21,359,211,943円）より、分配対象収益は22,270,699,362円（1万口当たり1,030円）であり、うち648,097,550円（1万口当たり30円）を分配金額としております。

【第63期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益（642,234,226円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、収益調整金（22,907,028,976円）および分配準備積立金（252,949,066円）より、分配対象収益は23,802,212,268円（1万口当たり1,030円）であり、うち692,973,446円（1万口当たり30円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2019年10月26日 ～2019年11月25日	2019年11月26日 ～2019年12月25日	2019年12月26日 ～2020年1月27日	2020年1月28日 ～2020年2月25日	2020年2月26日 ～2020年3月25日	2020年3月26日 ～2020年4月27日
当期分配金	45	45	45	45	30	30
（対基準価額比率）	3.856	3.788	3.920	4.373	5.282	5.780
当期の収益	42	41	40	42	30	27
当期の収益以外	2	3	4	2	—	2
翌期繰越分配対象額	991	990	988	986	1,000	1,000

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
 （ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運 用 基 本 方 針	<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 な 投 資 対 象	クレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投 資 態 度	<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投 資 運 用 会 社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2019年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	75,051口
ツイン・アルファ・クラス	26,423,435
合計	26,498,486口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2018年12月1日～2019年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	11,890,975,802
担保付スワップ取引に係る純損失	(10,155,914,134)
	1,735,061,668
収益合計	1,735,061,668
運用費用	75,885,055
運用費用合計	75,885,055
運用利益	1,659,176,613
分配前の期中の純資産変動	1,659,176,613
支払分配金	(11,815,090,747)
分配後の期中の純資産変動	(10,155,914,134)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2019年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	750,505,120	157,380,924
ツイン・アルファ・クラス	264,234,352,430	23,992,479,201
合計		24,149,860,125

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第14期（決算日 2019年11月11日）
（計算期間 2018年11月13日から2019年11月11日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2019年11月11日に第14期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 中 率			
10期（2015年11月10日）	10,178	0.0	60.8	—	百万円 57
11期（2016年11月10日）	10,174	△0.0	—	—	67
12期（2017年11月10日）	10,167	△0.1	—	—	129
13期（2018年11月12日）	10,159	△0.1	—	—	157
14期（2019年11月11日）	10,152	△0.1	—	—	213

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		%	%	%	%	%
期首 (前期末) 2018年11月12日	10,159	—	—	—	—	—
11月末	10,159	0.0	—	—	—	—
12月末	10,158	△0.0	—	—	—	—
2019年1月末	10,158	△0.0	—	—	—	—
2月末	10,157	△0.0	—	—	—	—
3月末	10,156	△0.0	—	—	—	—
4月末	10,156	△0.0	—	—	—	—
5月末	10,155	△0.0	—	—	—	—
6月末	10,154	△0.0	—	—	—	—
7月末	10,154	△0.0	—	—	—	—
8月末	10,153	△0.1	—	—	—	—
9月末	10,153	△0.1	—	—	—	—
10月末	10,152	△0.1	—	—	—	—
期 末 2019年11月11日	10,152	△0.1	—	—	—	—

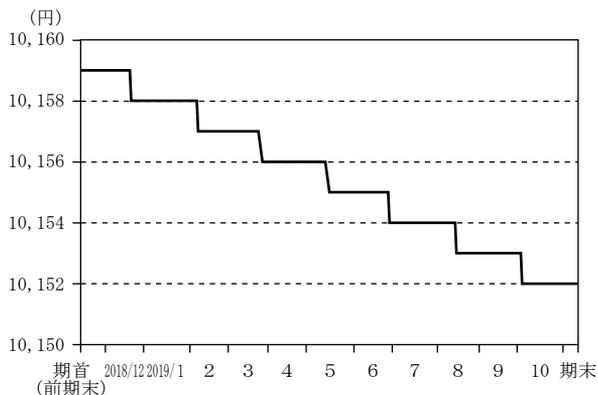
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,159円からスタートし、期末は10,152円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、小幅に下落となりました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.24%から期末は△0.21%となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうした中、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2018年11月13日から2019年11月11日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2018/11/13～2019/11/11	
	金額	比率
平均基準価額	10,155円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.004% (0.004)
合計	0	0.004

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2018年11月13日から2019年11月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2018年11月13日から2019年11月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	213,307	100.0
投資信託財産総額	213,307	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	213,307,962円
コール・ローン等	213,307,962
(B) 負 債	214
未 払 利 息	214
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	213,307,748
元 本	210,116,355
次 期 繰 越 損 益 金	3,191,393
(D) 受 益 権 総 口 数	210,116,355口
1 万口当たり基準価額 (C / D)	10,152円

(注) 期首元本額 154,776,257円
 期中追加設定元本額 57,308,990円
 期中一部解約元本額 1,968,892円

(注) 1口当たり純資産額は1,0152円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 欧州新成長国株式ファンド 33,713,782円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース 175,075,052円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース 1,327,521円

損益の状況

当期 自2018年11月13日 至2019年11月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 145,566円
受 取 利 息	147
支 払 利 息	△ 145,713
(B) そ の 他 費 用 等	△ 8,108
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 153,674
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,465,165
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	911,010
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 31,108
(G) 合 計 (C + D + E + F)	3,191,393
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,191,393

(注) 損益の状況の中で

(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (F) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。